

See you again.

クリスマス先生



上遠野亜理沙さん
(馬淵小6年)

英語をたくさん覚えて使ってみたい

5年生の時に勉強した「教科の英語の名前」は、今も少し覚えています。ゲームも楽しく遊ぶことができて良かったです。

クリスマス先生は、優しい先生でした。わたしが分からないときにいろいろ教えてくれました。アメリカの給食や町の話聞いて、いいなと思いました。クリスマスさんがいなくなるのはさみしいけど、英語をたくさん覚えて、いつかアメリカに行く時には使ってみたいです。

町教育委員会指導主事助手のクリストファー・ジャイ・シクルスさん(23歳)が、2年間の任期を終えてアメリカに帰国することになりました。

馬淵小(小野寺和子校長・児童21人)最後の授業は7月20日、江刈中(川村俊校長・生徒72人)では22日に行われました。アメリカから訪れたクリスマスさんの家族も授業を手伝い、なごやかな雰囲気の中、児童生徒は本場の英語を楽しみました。

江刈中では離任式も行われ、人望のある優しいクリスマスさんとの別れを惜しんでいました。

7月20日

最後の授業 (馬淵小)



クリスマスさん、弟のカイルさん、お母さんのキャシーさんと自己紹介ゲームを楽しむ低学年児童



7月22日

離任式 (江刈中)



離任式でクリスマスさんにエールを送る生徒。円内は、思い出を胸に全員と握手して退場するクリスマスさん



木下慎吾さん
(江刈中2年)

英語やアメリカに関心を持つように

初めてクリスマスさんと一緒に話した時、僕はあいさつも交わせませんでした。僕がかぜをひいている時、クリスマスさんは「大丈夫?」と声を掛けてくれました。あまり話をすることがなかったのに心配してもらって、とてもうれしかったです。少しずつですが、英語で話せるようになり、僕は英語やアメリカに関心を持つようになりました。これもすべてクリスマスさんの分かりやすい教え方のおかげです。

一緒に勉強したり、遊んだりしたので、クリスマスさんが離任するのは悲しいのですが、クリスマスさんと過ごした日々は忘れません。今まで本当にありがとうございました。